♬♪ 北茨城市役所民謡クラブを結成して ♬♪

市役所にもいろいろなクラブがありますが，われわれが結成している民謡クラブは，現在15名のクラブ員がいます。このクラブは，早いもので今年10周年をむかえました。

結成したいきさつというのは，私は民謡が好きで，テレビ，ラジオ，カセットテープなどを見たり聞いたりしているうちに，ああ民謡っていいなあと思い，どこか習うところはないかなあと思っていたわけです。ある日友人と２人で車に乗りラジオをかけたら民謡をやっていたのです。友人も民謡が好きで，曲目をすぐにあててしまうのです。私は，「よくわかるね。なかなか曲目はでないもんだよ」と言うと，「そんなことないよ。すぐわかるよ」と言うのです。私は，どこかで民謡を習うところはないかな，と話をしました。そうすると友人は，あると言うのです。さっそく習い始めました。月謝は月2,000円でした。始めてから半年，1年と過ぎていくうちに，歌ばかりでなく尺八や三味線まで習うようになったのです。歌はどうにかわかってきたのですが，楽器はなかなか覚えられませんでした。とくに尺八は，音がでるまでまさに時間がかかりました。毎日毎日音をだす練習です。１週間位でなんとなく音がでるようになったのです。「こつは首をふること」。三味線もばちのもち方がむずかしかった。

歌も覚え，楽器も覚えてくるうちに，市役所にも民謡クラブみたいなものを結成してはどうかと話をするようになったのです。そして，人を集めに各課を歩きました。そしたらやってみようという人が，30人近くになったのです。そして，昭和50年に結成したのです。最初は30人もの会員がいましたが，なにごとも３年が勝負でありまして，３年をすぎてからだんだん会員が減ってきまして，現在の15人になってしまいました。でもこの15人は，全員が歌の好きなものばかりで，宴会のときなどはマイクをもったら離さなくなるほど熱中してしまいます。

われわれ民謡クラブは用意も万全であります。全員が着物をそろえ，楽器も尺八，三味線，太鼓とそろえ，練習も豊富であるため全員がそつなく歌い，結成当時からかなりの進歩をしており，このクラブはいまがはなざかりといった感じであります。

ここで，この民謡クラブの１年間の事業について紹介してみたいと思います。４月の下旬に春の民謡発表会を行っております。会員あるいは会員の家族や友人が集まって，民謡を歌いながら余暇を楽しむわけです。全員がまったく疲れを忘れ，１日があっというまに過ぎてしまいます。

５月上旬頃～８月にかけて老人ホームや施設慰問をし，老人や障害者との交流を深め，楽しくなごやかにすごします。

10月の下旬～11月上旬には市民まつりに参加しています。道路わきに仮設舞台をつくり，そこで歌や踊りを披露しています。この市民まつりは，市の教育委員会や青年会議所が主催をし，いろいろな催しが行われます。

11月～12月にかけて市の芸能発表会に参加しています。この時期にクラブの役員会や総会ならびに忘年会も実施し，年に１回旅行も行っています。以上が事業内容です。

この民謡クラブを最後まで愛し，いつまでも長続きするよう願っております。

（北茨城市企画課統計担当主幹　臼庭正一）

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は，昭和60年6月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室　本庁舎地下1階　TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所（者）
中央省庁関係	
昭和55年　国勢調査モノグラフシリーズ No.7 教育からみた日本の人口	総務庁
昭和60年版　交通安全白書	〃
昭和60年版　観光白書	〃
西ドイツで予定された1983年センサスについて	〃
昭和59年　消費者物価指数年報	〃
統計基準年報　(58年度)	〃
昭和60年版　環境白書	環境庁
昭和60年版　国土利用白書 ―土地問題の現状と課題―	国土庁
昭和59年版　過疎対策の現況 ―後期5ヵ年計画のスタートにあたって―	〃
昭和60年版　防災白書	〃
昭和58会計年度　私立学校の財務状況に関する調査報告書	文部省
昭和60年版　文部統計要覧	〃
昭和59年度　学校基本調査報告書（初等・中等・専修・各種学校）	〃
（高等教育機関）	〃
昭和59年度　学校保健統計調査報告書	〃
昭和58年　患者調査	厚生省
昭和59年　国民生活実態調査報告	〃
研究資料 第234号　人口統計資料集	厚生省人口問題研究所
昭和59年産　関東の作物	農林水産省 茨城統計情報事務所
昭和59年度　林業白書	林野庁
昭和58年　工業統計表　産業編	通商産業省
〃　〃　品目編	〃
〃　〃　市町村編	〃
昭和60年版　中小企業白書	中小企業庁
昭和60年版　運輸経済統計要覧	運輸省
昭和60年版　運輸経済図説	〃
季節調整済主要労働経済指標	労働省
日本の労働組合の現状 ―労働組合基礎調査報告―	〃
区画整理に関する国際セミナー資料	建設省
昭和60年版　地方財政白書	自治省
茨城県関係	
昭和59年度　研修概要	自治研修所
市町村公共施設の現況　昭和59年3月31日現在	地方課
昭和59年　市町村財政実態資料	〃
昭和60年度　茨城県水防計画	消防防災課 茨城県防災会議
昭和59年　茨城県統計年鑑	統計課
昭和60年度　事業計画書	保険課
住みよいむらづくり	農政企画課
茨城のうまい米づくり	営農再編対策課
農業者の健康づくりにとりくんだ普及活動	改良普及課
魅力ある農業と生活を築く婦人の役割	〃
昭和60年版　茨城の蚕糸業	蚕糸課
水戸鹿行地域森林計画書	林政課
林木育種事業のあゆみ	林業試験場
昭和59年度　保護水面管理事業調査報告書	漁政課
漁船統計表　昭和59年12月31日現在	水産施設課
道路現況調書　昭和59年4月1日現在	道路維持課
都市公園管理の概要	都市施設課
茨城の犯罪　1984	警察本部
県内市町村関係	
第二次北茨城市総合計画	北茨城市
昭和59年　とうけいいわせ	岩瀬町
協和町第2次総合計画	協和町
八千代町第2次総合計画	八千代町
第二次石下町総合振興計画	石下町
猿島町後期基本計画	猿島町
都道府県関係	
昭和57年度　福島県市町村民所得	福島県統計調査課
昭和58年度　県民社会生活関連指標	〃
昭和57年度　市町村民所得統計表　分配所得	群馬県統計課
昭和59年版　統計からみた群馬の経済	〃
昭和59年度報　群馬県消費者物価指数	〃
昭和59年分　埼玉県鉱工業指数	埼玉県統計課
昭和58年度　千葉県法人企業経済統計調査結果報告	千葉県統計課
高知県経済の構造 ―昭和55年産業連関表作成結果報告書―	高知県統計情報課
長崎県社会生活統計指標（昭和58年度データ）	長崎県情報統計課
労働力調査報告	沖縄県統計課
公社・会社・団体等関係	
昭和59年　経済統計年報	日本銀行
昭和58年度　食料需給表	(財)農林統計協会
昭和59年度　図説農業白書	〃
昭和59年度　農業白書附属統計表	〃
昭和59年度　図説漁業白書	〃

経済動向

国内の動き

●景気，1—3月は足踏み（国民所得統計速報）

経済企画庁が発表した今年1—3月期の速報によると，国民総生産の物価上昇率を差し引いた実質伸び率は前期（昨年10—12月）比0.1%，年率換算した瞬間風速で0.4%となり，第1次石油危機後の50年1—3月期以来の低い成長率になった。輸出が落ち込み外需がマイナスとなったうえ，景気上昇のリード役だった民間設備投資も前期比0.1%増と不振だったのが主因。しかし，昨年10—12月期に急成長したため，59年度全体の実質経済成長率は5.7%と昭和47年度以来の高い伸びとなった。（日経 6月15日付）

●製造業ソフト化，一段と進む

労働省がまとめた59年産業労働事情調査によると，製造業で事務や販売，研究開発など生産に直接携わらない「ソフト部門」で働いている従業員の割合は39.8%，ソフト部門の仕事を外部にも委託している企業は91%にのぼった。新製品の開発や販売体制の強化などに企業が積極的になっていることによるもので，労働省は「製造業でのソフト化，サービス化は今後も一段と進む」とみている。この調査は今回が初めてで，製造業の常用雇用者100人以上の企業を対象に昨年10月末現在で調査，約3,500企業が回答（回答率86%）した。（日経 7月1日付）

県内の動き

■経　済

●景気回復の歩調鈍化傾向

常陽産業開発センターではこのほど，5月までの状況を中心に分析した「最近の茨城県経済動向」をまとめた。それによると，県内景況はここのところ，民間設備投資などが持ち直し基調にあるが，工業生産の伸び鈍化が鮮明化し，また持ち直し基調がみられるにしても個人消費の盛り上りは弱いなど，全体に力強さに欠け，総体として景気回復の歩調は鈍化傾向を強めている。（常陽 7月1日付）

■産　業

●日本光学工業が進出

カメラ，超精密機器の大手メーカー・日本光学工業は，水戸東部工業団地への進出を決め，県開発公社との間で取得契約を結んだ。取得面積は12.6ヘクタールで，同社の工業用地の中でも最大規模。県企業立地推進本部が昨年7月に発足して以来，県内に進出した企業の中でも最大の立地面積となっている。同工業団地（分譲面積22.9ヘクタール，6区画）は同社の進出により，57年12月の分譲開始以来，2年半で完売となった。61年末までには進出全社が全操業となる見通し。（いはらき 7月4日付）

■その他

●県北もハイウェー時代

県北地区にハイウェー時代が到来。常磐自動車道日立南太田—日立北インター間19キロが7月3日開通した。常磐道のなかでもトンネルと橋りょうが交互に連続する難工事区間で事業費は約966億円。産業，経済の発展をもたらすとともに日立市内の交通渋滞緩和に役立ちそう。日立北インターの開通で，常磐道は埼玉県三郷市から福島県いわき市までの総延長176キロのうち124キロが完成した。これで日立と都心は約2時間で結ばれる。（いはらき 7月4日付）